

## 公益財団法人みずほ国際交流奨学財団 2019年度外国人奨学生募集要項

公益財団法人みずほ国際交流奨学財団（以下、「財団」という）からの推薦依頼に基づき、以下のとおり、募集します。応募に際しては必ず、「2019年度外国人奨学生募集要項（以下、「募集要項」という）」で詳細を確認してください。

応募資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 財団が提示する応募資格を全て満たすこと。</li> <li>(2) 在留資格が「留学」であること（あるいは「留学」へ変更申請中であること）。</li> <li>(3) 2019年度において休学（秋学期に復学した者を除く）、原級、在籍原級、留籍をしていないこと、また、応募する奨学金の受給年度において休学、原級、在籍原級、留籍の見込みがないこと。</li> <li>(4) 応募年度に懲戒処分を受けていないこと。また、応募時点で懲戒処分期間中ではないこと。</li> <li>(5) 直近（2018年度後期）のG P Aが、学部生で2.7以上、大学院生で3.5以上であること（会計専門職研究科学生のみ2.5以上）。</li> </ul>
学内締切（厳守）	<h3 style="color: red;">2019年4月18日（木）</h3> <p>※「募集要項」に記載の応募締切日ではなく、上記の学内締切を厳守してください。</p>
提出場所	<p>国際教育事務室（駿河台、生田、和泉） 中野キャンパス低層棟3階 事務室（4番外国人留学生窓口） ※事務室開室時間外での受付は不可</p>
提出書類	<p>「募集要項」「4.応募方法」に記載の応募書類のうち、「①奨学金申込書（写真不要）」を提出してください。（その他の提出書類は学内選考合格者のみ提出していただきますので、事前に準備をすすめてください。）</p>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 応募に際しては必ず、「募集要項」で詳細を確認してください。</li> <li>(2) 学内での応募についてはこの学内募集要項の指示にしたがってください。</li> <li>(3) 不明な点がある場合には、国際教育事務室、中野キャンパス低層棟3階事務室へ問い合わせることとし、<b>直接、当該財団に問い合わせないでください。</b></li> <li>(4) 本人以外の応募書類の提出は認めません。</li> <li>(5) 学内応募については、他の奨学金との併願を認めますが、同一の学生を併給が認められない複数の奨学金には推薦しません。</li> <li>(6) 修正液や二重線による修正は一切行わないでください。</li> </ul>
個人情報の取り扱いについて	<p>明治大学は、「学校法人明治大学個人情報保護方針」ならびに本学「個人情報の保護に関する規程」に基づき、日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、その他の学外奨学金の申請者及び保護者等関係者の個人情報（学籍異動・成績情報を含む）を奨学金業務を適切に遂行する目的以外には使用しません。また、個人情報提供先については、法令に遵守した形で行い、これらの目的以外に個人情報を利用しないことを約束します。</p>
お問い合わせ	<p>国際教育事務室 奨学金担当（03-3296-4141）</p>

**2019年度外国人奨学生募集要項**  
**APPLICANT GUIDELINES**  
**FOR THE 2019 FOREIGN STUDENT SCHOLARSHIP PROGRAM**

公益財団法人みずほ国際交流奨学財団  
Mizuho International Foundation

わが国の大学において勉学、もしくは研究を行なっている学業、人物ともに優秀、健康な外国人留学生で、かつ特に経済的援助が必要と認められる者に対して、下記の要項により奨学援助を行います。

Under the following terms and requirements, the Foundation will provide scholarships for excellent students from overseas who attend universities or colleges in Japan and are considered to be in need of economic assistance.

記

1. 応募資格（以下の資格すべてに該当する見込みであること：2019年10月時点）

Qualifications (Recipients of the scholarship must meet each of the following conditions as of October, 2019)

- ① 外国の国籍を有する者。  
Students of foreign nationality
- ② わが国の大学学部在籍する正規学生、大学院正規学生もしくは同課程相当の研究に従事する研究生で、専攻分野が人文・社会科学系列である者。  
Regular students of a university or college department, graduate students taking the proper courses, or research students engaged in studies equivalent to the graduate level whose major field of study is in either social science or humanities.
- ③ 本法人奨学生となった場合、他の奨学金を受けないこと。  
Persons who do not receive scholarships from any other organizations.
- ④ 在留資格“留学”の者。  
Persons who have a student visa.
- ⑤ 健康であること。  
Persons who are healthy.
- ⑥ 国際理解と親善に関心を持ち、貢献を期する者。  
Persons who are interested in international understanding and friendly relations and who are determined to contribute to society.

## 2. 採用人員

Number of Scholarship Recipients

全体で10名程度。(各大学からは、3名の学長推薦を受けた者の中から原則として1名を採用)

about 10 scholars (As a rule, we select 1 scholar from among 3 candidates recommended by 1 university or 1 college.)

## 3. 奨学金の額と支給の方法

Scholarship Payment (Grant)

① 奨学金の支給額 月額 100,000円

Amount: A monthly allowance of ¥ 100,000

② 支給期間 2019年10月から、最長2年間

(推薦を受ける大学に同期間在籍し、国内の同大学に就学することが条件。)

Period: 2 years from October 2019( must be registered without interruption for a minimum of 2 years at the recommending university or college, and also study in Japan.)

③ 奨学金の支給方法 原則として3ヶ月分を3ヶ月毎に年4回支給

Payment Method: Every 3 months, 4 times a year.

(October, January, April, July )

## 4. 応募方法

Application Method

以下の書類を所属大学長(事務局)宛提出のこと

Applicants should submit the following documents to the president or the section concerned of the university where they are registered.

① 奨学金申込書(所定の用紙を使用のこと)

Application form (form prepared by the Foundation)

② 推薦状(同上)・推薦書(同上)

A letter of recommendation from both the president and the professor in charge.  
(form prepared by the Foundation)

③ 在学証明書

A certificate of student registration.

④ 成績証明書(コピー可)

College/university transcript

⑤ 住民票

Certificate of resident registration.

⑥ 健康診断書(コピー可)

Health certificate

## 5. 応募期間

Application Period

2019年1月4日(金)から2019年5月18日(土)まで

From 4th January 2019 to 18th May 2019

## 6. 選考及び決定

Selection of Scholars

所属大学長から推薦があった者について、当財団の選考委員会において書類審査を行ない、書類審査合格者に対して、面接審査の上、最終決定する。

採否の結果については、在学する大学長を通じて本人に書面で通知する。

Scholars who are recommended by universities will first be subject to a screening of the application documents. Successful candidates will then have an interview with the Selection Committee of the Foundation. A final determination will be made after conclusion of the interviews, and a written notification of the result will be sent to each student via the university that the student is now attending.

## 7. 奨学金支給の停止

Suspension of Scholarship Payment

- ① 病気その他の事由により勉学または研究を継続する見込みのない場合。

In the case where the student has no prospect of continuing his or her study due to illness or other personal reason.

- ② 学業成績不良の場合。

In the case of poor scholastic or research performance.

- ③ 勉学または研究の指導者から、勉学または研究の継続に不適格とみなされた場合。

In the case where the supervising professor considers it inappropriate for the student to continue his or her study.

- ④ 素行不良、その他、本法人の奨学生として適性を欠く者と認められる場合。

In the case where the student's conduct is unacceptable, or is regarded as inappropriate for a scholar by the Foundation due to other reasons.

- ⑤ 在籍する大学から、他の大学等へ転校・転籍した場合

In the case when the student change the university to another university.

## 8. 届出義務

Duty to Report Incidents

奨学生は以下の1つ以上に該当する事情が生じた時は、当財団に届出あるいは報告を

しなければならない。(①、②は様式適宜)

When a situation that corresponds to at least one of the following cases arises, the scholarship recipient must report the situation to the Foundation as soon as possible:

- ① 何らかの理由により休学、転学、退学することになったとき  
Absence, transfer or withdrawal from the school for any reason.
- ② 何らかの理由により他の奨学機関から給付を受けるため申請手続きをおこなう場合あるいは他の奨学機関から給付を受けることになったとき  
When a student will apply for a scholarship from another organization for any reason, or will receive a scholarship from another organization.
- ③ 日本を離れ、帰国または他国へ旅行する時は「帰国・外国旅行届」(様式、別紙1)を事前に届出ること。  
A student must submit the “Notification of Home Leave or Travel Abroad” (attached) beforehand when the student will leave Japan for home country or other countries.
- ④ 四半期報告 “「私の今」について” (様式、別紙2)を遅滞なく報告すること。  
A student must submit the quarterly report “Watashi no Ima” (attached) without delay.
- ⑤ その他、提出済の奨学生申請書類の記載事項に変更や異動が生じたとき、「変更事項等通知表」(様式、別紙3)を遅滞なく届け出ること。  
In other cases where an alteration or change has occurred in the statements that the scholar entered in the original application forms, a student must submit “変更事項等通知表” (attached) without delay.

## 9. その他

Other Matters

提出された応募書類は返却しない。

Application documents submitted will not be returned.

## 10. 照会先

Inquiries

公益財団法人 みずほ国際交流奨学財団 事務局

Mizuho International Foundation

住所：東京都千代田区内幸町1-1-5 (〒100-0011)

1-5 Uchisaiwaicho, 1-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011

TEL : 03-3596-5622

FAX : 03-3502-2035

E-mail : [fbifyume@nifty.com](mailto:fbifyume@nifty.com)

**みずほ国際交流奨学財団**  
**2019年度外国人留学生奨学金申込書**

(記入例)

記入日(西暦)2019年5月1日

フリガナ <b>ミズホ タロウ</b>	生年月日 <b>1995年 4月 5日</b> (年齢 <b>24</b> 歳)	顔写真 貼付 4cm×3cm カラー (1年以内に撮影の) (デジタル添付可)
氏名 <b>瑞穂 太郎</b>	(男) 女) (既婚) (未婚)	
英文名 <b>TARO MIZUHO</b>	国籍 <b>インドネシア</b>	
〒 <b>100-0011</b> 現住所 <b>東京都千代田区内幸町1-1-5</b> TEL: <b>03-3596-5622</b> FAX: <b>03-3502-2035</b> E-mail: <a href="mailto:fbifyume@nifty.com">fbifyume@nifty.com</a>		
在籍大学 <b>みずほ 大学 大学院 国際公共政策 研究科 博士課程</b> ・修士課程・研究生 <b>1</b> 学年在学		
学部 学科 学年在学 (西暦 <b>2018</b> 年 <b>10</b> 月入学)		
研究テーマ: <b>各国の行政府における国際公共政策の相違について</b>		
指導教官名 <b>大和 路雄 教授</b>		

学歴・職歴等(出身高校/出身大学・学部名・専攻/職歴等を記入。日本への入国時期、入国後から現在までも記入。)	
2008年 3月	ABC 州 DEF 高校 卒業 (インドネシア ジャカルタ市)
2008年 4月	EFG 大学 法学部入学 (インドネシア ジャカルタ市)
2012年 3月	EFG 大学 法学部(私法課程) 卒業
2012年 4月	HIJ 法律事務所 就職 (法律事務アシスタント) (インドネシアジャカルタ市)
2014年 10月	同 退職
2015年 1月	日本に入国
2015年 4月	大和外語学院日本語コース 入学 (東京都豊島区)
2016年 3月	同 卒業
2016年 10月	みずほ大学大学院 国際公共政策研究科 修士課程入学
2018年 9月	同 修了
2018年 10月	みずほ大学大学院 国際公共政策研究科 博士課程入学
	現在に至る

## 日本に留学することを決意した経緯、留学の目的

- ① 日本に興味・関心を持ったきっかけ、経緯、
- ② 母国での日本(言語・文化など)についての履修状況、
- ③ 日本に留学して学びたいと思ったこと

等について、詳細に記入してください

## 日本語の学習歴

学習機関名: **大和外語学院** 所在地: **東京都豊島区池袋1-2-3**

学習期間: **2015年4月** ~ **2016年3月**まで(合計 **1年0月**)

日本語の能力(自己評価): **日常会話ができる** (日本語検定試験 **NP 1級**)

母国住所: **ジャカルタ市〇〇△△1-2-3**

## 家族状況

家族氏名	続柄	年齢	現住所	勤務先/在学学校
瑞穂 富士夫	父	50	同上	〇〇会社営業部
瑞穂 花子	母	48	同上	△△会社経理部
瑞穂 一郎	兄	30	ジャカルタ市〇〇△△	ジャカルタ市交通局
瑞穂 三郎	弟	20	ジャカルタ市◇◇〇〇	インドネシア大学工学部

## 緊急時の連絡先(国内)

氏名	住所	電話
山本 和雄	神奈川県横浜市〇〇区△△町1-5-6	044-〇〇〇-△△
関係	職業	E-mail
友人	〇〇建設株式会社 営業部	abcd@docomo.ne.jp

経済状況	
1. 1ヶ月の平均収入額	60,000 円
内訳	
①仕送り額 月額	10,000 円 (仕送り者の続柄: 父 職業: 会社員 年収: 300万円)
②本人の収入額 月額	20,000 円 (アルバイトの収入 月額20,000 円 (職種: コンビニ店員 週3日 )
③奨学金 月額	20,000 円(名称: ○○育英基金 )
	受給期間: 2017 年 4 月~ 2019 年 3月 )
④その他収入額 月額	10,000 円(内訳: TA 指導教官のアシスタント )
⑤配偶者(いる場合)の収入額 月額	65,000 円(内訳: JASSO奨学金 2016年4月~2年間)
2. 1ヶ月の平均支出額	60,000 円
内訳	
①家賃 月額	30,000 円 (住居形態: 借アパート 広さ: 25 m <sup>2</sup> )
②食費 月額	15,000 円
③その他(交通費、通信費等の経費を具体的に記入)	
月額	15,000 円 (内訳: 交通費 5,000円、 図書費5,000円、 光熱費5,000円 )
3. 経済状況について、特に強調したいことがあれば、記入のこと。	
	(なぜ、奨学金が必要かについて、ご実家の経済状況や、日頃の生活状況等について記入してください)

授業料等の状況	
1. 授業料 年額	535,800 円
2. その他(大学所定の納付金等) 年額	100,000 円
3. 授業料の減免(該当するものに○印を付すこと)	
①受けている(全額、半額、	%)
②受けていない	
③申請している(全額、半額	%)
4. 授業料等の納付方法(該当するものに○印を付し、授業料等の金額と一致すること)	
①全額仕送り: 授業料等仕送り額(年額)	635,800 円(仕送り者との続柄: 父 職業: 会社員 )
②一部仕送り: 授業料等仕送り額(年額)	円(仕送り者との続柄: 職業: )
③全額自己負担: 自己負担額(年額)	円
④一部自己負担: 自己負担額(年額)	円

他の奨学団体等への応募状況(該当するものに○印を付すこと)	
①応募していない	
②応募している(応募中、応募予定)	※②の場合は、次の各項目を記入のこと
団体名:	月額: 円、採用決定時期 年 月 日
受給期間(西暦)	年 月 ~ 年 月



将来の計画 : 日本もしくは母国、その他の国での進学または就職(職種)の希望・予定など

- ① 現在、日本の大学で学んでいることが自分の将来にとってどのように役に立つのか、
- ② 卒業後は、どこの国(日本あるいは母国など)で、どのような組織(大学・企業・国際団体など)に就職し、どのような仕事がしたいのか、
- ③ 特に国際交流の観点からは、この留学がどのように役に立つのか

等について記入してください

母国の連絡先

氏名	続柄	住所	電話
瑞穂 富士夫	父	インドネシアジャカルタ市〇〇△△	〇〇—△△△△

自己紹介 : 自分の性格、趣味、特技、当財団に応募する理由など

- ① 自分の性格(長所など)・趣味、特技など、自己アピールすべき点について記入してください
- ② どこでこの財団のことを知り、なぜこの財団の奨学金に応募したのか、その理由を記入してください

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2019 度貴法人の奨学生募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として選考していただきたく申請いたします。

公益財団法人 みずほ国際交流奨学財団

理事長 殿

申請年月日 2019 年 5 月 1 日

申請者署名 瑞穂 太郎(サイン)